

第7回和泉デイサービスセンター運営推進会議 会議録

事業所名	和泉デイサービスセンター わくわく館
開催日時	令和元年10月8日(火) 14時00分～15時00分
開催場所	和泉デイサービスセンター 会議室
参加者	利用者家族 2名 和泉民生委員児童委員協議会民生委員 1名 老人クラブ和泉会副会長 1名 介護支援専門員 1名 大野市社会福祉協議会事務局 2名 事業所職員 2名
議題	① 運営状況について ② 利用者の状況について ③ デイサービスの状況について ④ 転倒などの事故について ⑤ 苦情、要望などについて ⑥ 非常災害時の対応について ⑦ その他
会議録	
<p>【収支状況等について】 令和元年度前期は収入が13,244,141円、支出が9,647,626円となり、収支差額が2,418,796円となりました。これは平成30年前期に比べ、+1,180,000円ほどになりました。収入は前年度に比べに大きな差はありませんが、支出は前年度よりも1,000,000円ほど抑えられました。この理由としては、職員数が減ったことで人件費がかからなくなったことなどがあげられます。利用人数も前年度とほぼ同じ数字を維持しています。支出は減りましたが、これから冬場になると利用者の数が減り、売り上げも落ち込んでしまいます。施設も20年が経過したことで老朽化が進んでおり、空調整備に800万円費用が掛かったり、機械室の修理があったりと、ここ何年かのうちに対応しなければならない課題がいくつかあります。</p> <p>【利用者の状況について】 現在登録者数は24人。平均介護度は2.3と徐々に上がってきています。1日の平均利用者数は12.3人となっています。利用者の介護度の推移をみると、介護度悪化が9人。介護度維持</p>	

が 11 人。改善が 1 人。未更新が 3 人となっています。また、曜日別の利用者数は現在定員の 18 人に達していないため、受け入れの余裕がある状態です。

【デイサービスの状況について】

デイサービスの行事内容等に大きな変化はありませんでした。

【転倒などの事故について】

8/13 に椅子に座る際にバランスを崩して座り込む、といった事故がありました。今後の対策として、見守りと声掛けを徹底していくという対策をとりました。

【苦情、要望等について】

苦情や要望はありませんでした。

【非常災害時の対応について】

施設では年に 2 回、避難訓練実施計画書を消防署へ提出し、1 回目は自主訓練として 6/29 に、2 回目は総合訓練として和泉診療所との合同避難訓練を 10/23 に予定。

その他に 7/28 に朝日板倉角野地区自主防災訓練へ参加した。

【質疑応答】

・和泉の人口が少ない中で新規の利用者はいるのか？

→現在介護保険の未更新の方が 3 人おり、この方々が新規の利用者となっている。

・延長サービスとは何でしょうか？

→デイサービスの営業時間は通常 9:00～16:30 だが、7:00～18:30 までは延長で利用できるサービスの事をいう。料金は 30 分で 300 円かかり、延長サービスは家族がデイサービスまで送迎する場合のみ利用可能となっている。

・レクリエーションでの外出行事などは全員で行くのか？

→利用者の方によっては行きたくない人などもあるので、利用者の状態や状況を考慮して外出活動は行うようにしている。

【サービスに対する要望、助言などについて】

・事故について、職員は利用者の特徴などをよく知っていると思うので、これからも注意して見守りを行ってほしい。

・デイサービスの災害時の避難場所はどこになっているのか？

→和泉小中学校体育館になっている。

→デイサービスの横の斜面も危険区域となっているため、台風などの危険が予測される場合には早めの営業中止をするようにしてほしい。また、デイサービス利用時に大雨などで危険が予測される場合に斜面から離れた場所にいるようにするなどの対応をとってほしい。

・他の会議で話があがったが、災害の際にデイサービスの車を使わせてもらうことはできるのだろうか？

→現在検討中。災害時に車を避難などに使うことはできるが、使う際のある程度のルールなどを考える必要がある。

・前回の議題で上がった送迎の際に工事車両に気を付けたほうがいいという話はどうなった

でしょうか？

→デイサービスの車と分かるように「送迎中」のステッカーをつけています。

→送迎中の工事車両に心配があるなら支所や国交省に伝えたほうがいいかもしれない。

・せっかく大きなホールがあるので、レクリエーションの内容を機能訓練などに活用してほしい。

【その他】

特になし。